

第18回学術大会、総合歯科の未来展望について活発な討論が展開

(一社) 日本総合歯科学会



活発に行われた若手ポスター発表討論。

2025年11月23日(日)、24日(月)の両日、長野県松本市市民会館(長野県)において、第18回日本総合歯科学会学術大会(音琴淳一大会長、理事長)が「総合歯科の未来展望—アドバンスな総合診療を目指して—」をテーマに開催された。総会では、現執行部を中心とした多様な学会活動が、各種委員会の活発な活動報告とともに示された。

特別講演Ⅰでは今井 裕氏(日本歯科専門医機構理事長、獨協医科大学名誉教授)による「歯科専門医における現

状と課題」が、特別講演Ⅱでは植田耕一郎氏(日本大学名誉教授)による「理念に基づく21世紀の歯科医療の展開」と題するテーマの講演が行われた。教育講演では、木尾哲朗氏(九州歯科大学名誉教授)による「総合診療歯科医が知っておきたい医療のコミュニケーション」が解説された。

また、シンポジウムでは音琴大会長の概要説明ののち、野田 守氏(岩手医科大学)による「3次医療機関における総合診療」、今井美恵氏(松本歯科大学)による「チーム医療から拓く

総合診療」の講演が行われ、活発な討論が展開された。

優秀口演演題、一般演題発表も行われ、優秀口演演題には小林温史氏(日本大学歯学部)が選ばれた。また優秀若手ポスター発表、一般ポスター発表が行われ、最優秀若手ポスター賞は高岡伊織氏(九州大学)が選ばれた。

さらに大会直前には、令和7年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を受けて、大会中に指導歯科医のフォローアップセミナーも開催され、多様な問題提起と討論がなされた。